

## V. つながりを深めて魅力的な流域へ

### 2.6. 流域自治体等との協働・推進

多摩川全体の環境改善と魅力向上を実現するためには、多摩川を流域全体でとらえる「流域思考」の視点に立って、源流から河口まで、多様な情報と知恵の交換、人・モノの交流を進めることが必要です。

多摩川の歴史を「回顧」する渡し事業や水辺の楽校での交流、対岸区市との連携・協働に関する包括協定の締結など、相互で多摩川の認識を共有するとともに、多摩川の新たな活用を見出すきっかけ作りとして、様々な議論を展開しながら、魅力ある多摩川を目指していきます。

#### 実施事業

86) 流域懇談会が主催する流域セミナーの開催

87) 流域自治体等と連携した渡しの事業や水辺の楽校の交流

重点



第42回多摩川流域セミナー

#### 【多摩川流域セミナー】

多摩川流域セミナーは市民団体、流域自治体、河川管理者等で構成されている「多摩川流域懇談会」で主催しております。

多摩川流域懇談会が目指す『パートナーシップではじめるくいい川づくり』を具体化するため、毎回様々なテーマで皆さんとご意見を交わしています。



いい川づくり交流広場



多摩川を歩く～河口編～

## 2.7. 多様な主体を支えるシステムづくり

多摩川の沿川では様々な企業や事業者により、施設の整備や管理が行われていることから、沿川の自然環境の再生や景観づくり等について、市民・企業・学校・行政が協働した取組を行う必要があります。

市民等との協働による、多摩川に関するシンポジウム等の開催や、市民・企業・学校・行政など、多様な主体が多摩川づくりに参加できるような取組を推進します。

### 実施事業

- 88) 市民等との協働による、多摩川に関するシンポジウム等の開催
- 89) 自然環境の再生等における市民、企業、学校が自主的に進められている活動の支援
- 90) 市民・企業・学校・行政のそれぞれの活動交流ができるシステムづくりの検討
- 91) 企業が多摩川の川づくりに参加できるようなシステムづくり
- 92) 企業が行う環境配慮の取組の広報・支援の検討



多摩川水辺の楽校 こどもシンポジウム川崎



多摩川博シンポジウム

## 2.8. 多摩川を活用したイベントの開催

多摩川においては、河川敷を会場とする様々なイベント（マラソン大会、花火大会、夏休み多摩川教室等）が開催されています。市民が親しみ、交流を深める場としての多摩川の魅力を発信していくためには、今後も、多摩川の持つ資源・魅力を活かしていく必要があります。

市民・企業・学校・行政それぞれが連携し、情報共有を図りながら地域に立脚し、地域から発信するイベントを開催していきます。

### 実施事業

- |   |    |
|---|----|
| 93) マラソン等のスポーツ大会の開催                     | 重点 |
| 94) 花火大会の継続的な開催                         |    |
| 95) 高津区こどもフェアの開催                        |    |
| 96) 市民館等の地域課題の解決に向けた市民自主企画事業等における市民との協働 |    |



## 2.9. 総合的な情報共有・受発信

多摩川における環境学習や地域のイベント活動など、その自治体による情報発信に留まりがちです。市民に流域を含めた多摩川の活動を周知するためには、流域自治体間での情報共有を図り、多摩川全体のイベントの開催や多摩川の拠点施設を活用し、市民に直接情報を発信していく必要があります。

市民団体、企業、学識経験者、流域自治体、河川管理者により構成される流域懇談会において、多摩川の現状を把握するとともに、交流を深めて協力関係を築き、いい川づくりの実現に向けて取組を促進します。また、ホームページ等により、広く情報を周知するとともに、二ヶ領せせらぎ館や大師河原水防センターなどの多摩川の拠点施設を活かし、来館者への情報発信を行うことで多摩川についての意識の共有化を推進します。

### 実施事業

- |                           |
|---------------------------|
| 97) 流域懇談会による情報共有・受発信      |
| 98) 多摩川の拠点施設を活かした情報共有・受発信 |
| 99) ホームページを活用した新鮮な情報発信    |

重点



### 30. 市民参加の川づくり

これまで多摩川プランを推進していくために、市民・市民団体・学識経験者等により構成された「川崎市多摩川プラン推進会議」を開催し、課題整理や進行管理などを、計画（Plan）・実行（Do）・評価（Check）・改善（Action）のPDCAサイクルに基づき、多摩川プランを推進してきました。今後は、より市民の意見を反映できるよう多摩川プランでの活動内容を広く周知し、市民が参加しやすい川づくりを進める必要があります。

これまで多摩川で活動してきた内容について情報を整理し、市民にわかりやすく広報するとともに、市民が参加しやすい川づくりができるよう多摩川プラン推進会議の開催をします。

#### 実施事業

- 100) 市民参加による、多摩川プランの進行管理



